

## 2. なつ

板橋富士見幼稚園幼児教育センター長

鍋島 恵美

アンズが実り収穫して生でかじって冷凍して今日はジャムづくりの日(6/21)に幼稚園に寄せてもらった気づきを語っていきたいと思います。6月水無月から7月文月へと四季が流れていく頃です。園庭に目を向けてみると、イチゴジュースやさんも済んだ後は、イチゴの苗がすくすくと育っている。夏野菜のトウモロコシ、ピーマン、ナスらも順調に育っている。春に植えた稲もシャンと元気に緑の葉を伸ばしている。子どもも夏に向かい元気に心と体を拓いていくのと同じように、園庭の植物も生き生きと育っている。

### 1. 園庭の緑の育ち



### 2. 何気ない場所に アサガオの生長と共に環境が変わる

6月水無月の頃に、4歳児保育室前のプランターにアサガオの苗が一本支柱に心細く巻き付こうとしていた。こぼれ種からの成長か…先生がその発芽した苗に支柱を添えられたのであろう。子どもが気づく場所に置いてある先生のこころのカタチがここにある。そして、7月文月には、ネットが張られて蔓が巻き付いて大きく成長している。物言わぬ植物の成長に合わせて手が貸してある。そうしたことが花を咲かせる。



### 3. 子どもの安全対策 低木で 心憎い環境がある

水無月 テラスと夏野菜畑 空間 文月 ツツジが植え付けられる



### 4. メロンがプランターで育つ

メロンに花が咲き一か月がたってちゃんとメロンができています。ウサギが守っている。

水無月 メロンに花が咲く 文月 メロンを発見!!すごい!! ミントマトも赤くなっていく



### 5. ぶどう棚の木陰に循環する池の水の音 心地よさを生む

ぶどう棚の下が日陰で心地よく感じる夏 ブドウが実り始めるころには袋をひと房ずつかける仕事は園長先生。実ったブドウをこどもが味わう。種があることに面倒だと感じるこどもも。実りの匂いを味わう幸せを感じてほしい。

水無月 袋をかけたブドウ 子どもが味わう お皿の中がかわいい環境 文月 研究者が憩う



### 6. 眼で見て手を動かし 色を選び 心に留まったところを描く

ひとり一人の観察記録を描くその創作過程を見つめてみたい。時の経過の順につなげてみると「富士見5歳児〇〇育ちの物語」ができるのではないかな。そこから新たな気づき(活動)が

生まれるかも…と思う。



## 7. アンズジャムづくり

アンズが実り、収穫して生でかじって、残りは冷凍して今日は、ジャムづくりの日



2020 年度作

2023 年度 6/21

玄関先に展示されているパネル。

安全柵につくりのレシピ

コロナ禍に今だからこそこどもに届けたい

登園してくる親子が気づく環境

願いから「ふじみずかん」を作り家庭に発信

これからどのような風景が生まれるのかワ

クワクする朝の情景

「アンズジャム工場」と名付けてみたいこの日



プロパンガスの火力と大きな鍋 冷凍したアンズと砂糖で煮込む。グルグルグルグルしゃもじで鍋底から混ぜる。先生二人 ねじ巻き人形のような動きに見える。異次元の世界に吸い込まれる感覚がするグルグルグルグル

午後からは場所を変えてグルグルグルグル少し出来上がりの先が見えてくる。あく取りグルグルグルグル 降園時子どもに手を引かれ『アンズジャム工場』

に目を向ける保護者 「先生大変ですね ありがとうございます」 その一言がうれしい。子

どもは親のその言葉からあったかい心を受け止めているように感じる。

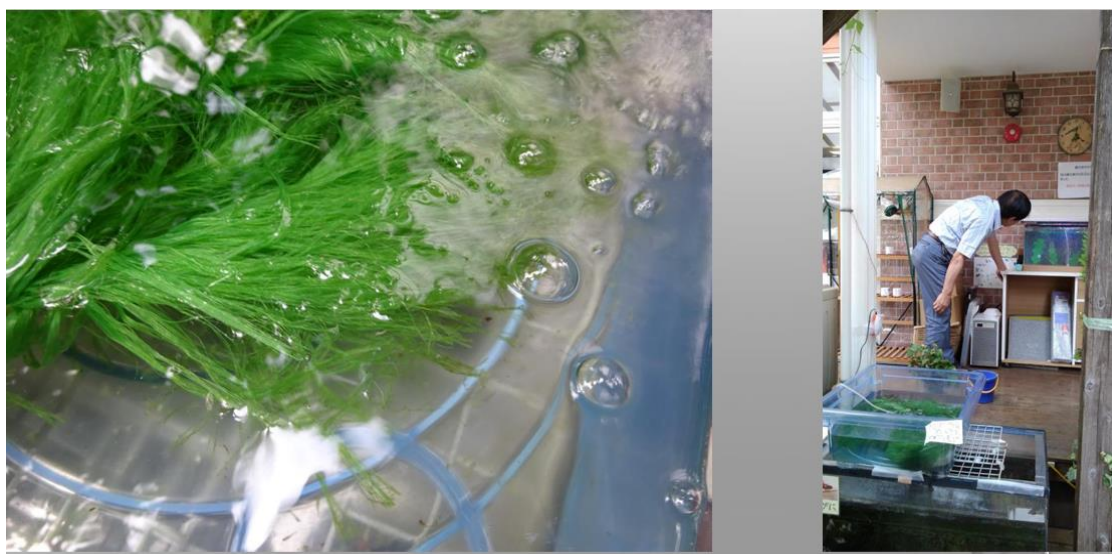
## 8. 光を楽しむ影を発見 子どもの遊び目線の駐車場

昨年度先生方と話し合っていた影の美しさ、その環境がここに作られているのを発見！  
学びの連続性を感じてぞくぞくして見惚れてしまう。



## 9. 池の住人 コイの産卵

子どもも園長先生も先生方が気づき見守る



園長先生 早速ネットで子育てに必要なものを調べ 購入。そして、育ちの様子をそっと見守っておられる。その姿を発見!! この園長先生の後ろ姿が、富士見の自然環境を慈しみこどもにとって何が必要かを第一にいつも思っておられる。そして何より園長先生の探求心は私のところをジンジンと振るわせます。園長先生の背中(からだ)から園長先生の”きもちのカタチ”が伝わってきます。